

生き物のことがわかる本

生き物のおはなしをあつめました。

動物や虫が好きなお友だちも、これを読めばいろんな動物や虫のことがもっと好きになると思います。

ぜひ手にとってみてくださいね。

ファーブル昆虫記 (486/7)

フランスの昆虫学者、ファーブルが出版した全十巻の昆虫の観察記です。児童室ではちいさいお友だちにも読みやすくしたシリーズもあります。

シートン動物記 (480/シ)

アメリカの動物学者シートンが発表した作品です。動物たちがどのように生きているのか、どのように行動しているのか詳しくなれます。

椋鳩十名作選 (913/ム)

日本の作家で、動物のおはなしをたくさん書かれています。小学5年生の国語の教科書に載っている、「大造じいさんとガン」も椋鳩十作品です。読みやすい絵本のシリーズもあります。

タイトル	作者	請求記号
ホッキョクグマが教えてくれたこと ぼくの北極探検 3000 キロメートル	寺沢孝毅／著	297/テ
北の森の十二か月 上 (スラトコフの自然誌)	ニコライ・スラトコフ／作	480/ス1
動物のおじいさん、動物のおばあさん	高岡 昌江／文	480/タ
谷本記者のむしむし通信 (ノンフィクション☆キラリ)	谷本 雄治／著	480/タ
ぼくらはみんな生きている 都市動物観察記	佐々木 洋／文・写真	482/サ
葉の裏で冬を生きぬくチョウ ウラギンシジミ10年の観 察 (わたしの研究)	高柳 芳恵／文	486/タ
黒イトノサマバッタ (わたしの昆虫記)	矢島 稔／著	486/ヤ
スズメの大研究 人間にいちばん近い鳥のひみつ	国松 俊英／文	488/ク
チンパンジーキキの冒険旅行	神戸 俊平／作	915/カ
獵人たちの四季 (極東ロシア・アムールの動物たち)	フセーヴォロド P.シソーエフ／著	983/シ